

貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

会計：一般会計等

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	15,684,945,575	固定負債	3,792,960,171
有形固定資産	13,605,440,103	地方債	3,141,082,522
事業用資産	7,981,245,281	長期未払金	-
土地	3,294,501,473	退職手当引当金	651,877,649
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	12,211,793,591	その他	-
建物減価償却累計額	-7,661,590,577	流動負債	791,237,855
工作物	269,348,342	1年内償還予定地方債	722,231,000
工作物減価償却累計額	-133,086,950	未払金	-
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	66,246,000
航空機	-	預り金	2,760,855
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	55,543,000	負債合計	4,584,198,026
その他減価償却累計額	-55,263,598	【純資産の部】	
建設仮勘定	-	固定資産等形成分	16,240,528,575
インフラ資産	5,557,120,788	余剰分(不足分)	-4,486,243,152
土地	410,900,586		
建物	60,113,047		
建物減価償却累計額	-11,794,430		
工作物	18,077,237,866		
工作物減価償却累計額	-12,979,336,281		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	-		
物品	521,442,080		
物品減価償却累計額	-454,368,046		
無形固定資産	-		
ソフトウェア	-		
その他	-		
投資その他の資産	2,079,505,472		
投資及び出資金	157,368,000		
有価証券	86,427,000		
出資金	70,941,000		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	14,406,026		
長期貸付金	30,000,000		
基金	1,878,791,446		
減債基金	255,001,000		
その他	1,623,790,446		
その他	-		
徴収不能引当金	-1,060,000		
流動資産	653,537,874		
現金預金	79,930,913		
未収金	18,023,961		
短期貸付金	-		
基金	555,583,000		
財政調整基金	555,583,000		
減債基金	-		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	-		
資産合計	16,338,483,449	純資産合計	11,754,285,423
		負債及び純資産合計	16,338,483,449

行政コスト計算書

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

会計:一般会計等

(単位:円)

科目	金額
経常費用	4,693,001,601
業務費用	2,606,708,441
人件費	1,014,723,998
職員給与費	648,783,273
賞与等引当金繰入額	66,246,000
退職手当引当金繰入額	40,460,705
その他	259,234,020
物件費等	1,553,731,687
物件費	751,329,325
維持補修費	54,906,200
減価償却費	716,782,492
その他	30,713,670
その他の業務費用	38,252,756
支払利息	9,164,795
徴収不能引当金繰入額	1,060,000
その他	28,027,961
移転費用	2,086,293,160
補助金等	1,527,217,370
社会保障給付	451,907,387
他会計への繰出金	104,916,446
その他	2,251,957
経常収益	228,895,082
使用料及び手数料	38,693,051
その他	190,202,031
純経常行政コスト	4,464,106,519
臨時損失	54,522,330
災害復旧事業費	54,011,076
資産除売却損	511,254
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	871,855
資産売却益	871,855
その他	-
純行政コスト	4,517,756,994

純資産変動計算書

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

会計：一般会計等

(単位：円)

科目	合計	固定資産 等形成分		余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	11,525,802,267	16,522,018,592	-4,996,216,325	
純行政コスト(△)	-4,517,756,994		-4,517,756,994	
財源	4,738,794,159		4,738,794,159	
税収等	3,868,164,561		3,868,164,561	
国県等補助金	870,629,598		870,629,598	
本年度差額	221,037,165		221,037,165	
固定資産等の変動(内部変動)		-288,936,008	288,936,008	
有形固定資産等の増加		98,260,702	-98,260,702	
有形固定資産等の減少		-716,782,492	716,782,492	
貸付金・基金等の増加		395,214,036	-395,214,036	
貸付金・基金等の減少		-65,628,254	65,628,254	
資産評価差額	-	-	-	
無償所管換等	7,445,991	7,445,991		
その他	-	-	-	
本年度純資産変動額	228,483,156	-281,490,017	509,973,173	
本年度末純資産残高	11,754,285,423	16,240,528,575	-4,486,243,152	

資金収支計算書

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

会計：一般会計等

(単位：円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	3,924,745,404
業務費用支出	1,838,452,244
人件費支出	964,316,293
物件費等支出	836,949,195
支払利息支出	9,164,795
その他の支出	28,021,961
移転費用支出	2,086,293,160
補助金等支出	1,527,217,370
社会保障給付支出	451,907,387
他会計への繰出支出	104,916,446
その他の支出	2,251,957
業務収入	4,873,484,276
税込等収入	3,869,433,401
国県等補助金収入	814,373,211
使用料及び手数料収入	59,763,272
その他の収入	129,914,392
臨時支出	54,011,076
災害復旧事業費支出	54,011,076
その他の支出	-
臨時収入	33,521,000
業務活動収支	928,248,796
【投資活動収支】	
投資活動支出	492,126,188
公共施設等整備費支出	98,260,702
基金積立金支出	355,865,486
投資及び出資金支出	3,000,000
貸付金支出	35,000,000
その他の支出	-
投資活動収入	78,676,855
国県等補助金収入	13,591,000
基金取崩収入	29,214,000
貸付金元金回収収入	35,000,000
資産売却収入	871,855
その他の収入	-
投資活動収支	-413,449,333
【財務活動収支】	
財務活動支出	767,651,514
地方債償還支出	767,651,514
その他の支出	-
財務活動収入	219,700,000
地方債発行収入	219,700,000
その他の収入	-
財務活動収支	-547,951,514
本年度資金収支額	-33,152,051
前年度末資金残高	110,322,109
本年度末資金残高	77,170,058
前年度末歳計外現金残高	2,114,690
本年度歳計外現金増減額	646,165
本年度末歳計外現金残高	2,760,855
本年度末現金預金残高	79,930,913

一般会計等財務書類に係る注記

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

開始時における有形固定資産等の評価は原則として取得原価とし、取得原価が不明なものとは原則として再調達原価としています。また開始後については、原則として取得原価とし再調達は行わないこととしています。

(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

出資金のうち、市場価格があるものは会計年度末における市場価格をもって貸借対照表価額としています。出資金のうち、市場価格がないものは出資金額をもって貸借対照表価額としています。ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状態の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしています。なお、出資金の価値の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下したとき」に該当するものとしています。

(3) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（事業用資産、インフラ資産）

定額法を採用しています。

② 無形固定資産

定額法を採用しています。

(4) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

過去5年間の平均不納欠損率により計上しています。

② 賞与引当金

翌年度6月支給予定の期末・勤勉手当のうち、全支給対象期間に対する本年度の支給対象期間の割合（4/6か月）を乗じた額を計上しています。

③ 退職給付引当金

地方公共団体財政健全化法における退職手当支給額に係る負担見込額算定方法に従っています。

④ 損失補償引当金

地方公共団体財政健全化法における損失補償債務等に係る一般会計等負担見込額算定方法に従っています。

(5) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行っています（少額リース資産及び短期のリース取引には簡便的な取扱いをし、通常の賃貸借に係る方法に準じて会計処理を行っています）。

(6) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（3ヶ月以内の短期投資等）を資金の範囲としています。このうち現金同等物は、短期投資の他、出納整理期間中の取引により発生する資金の受払いも含まれます。

(7) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

税込方式にて処理しています。

② 物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が50万円（美術品は300万円）以上の場合に資産として計上しています。ソフトウェアについても物品の取扱いに準じています。

2. 重要な会計方針の変更等

(1) 会計処理の原則

総務省「新地方公会計の推進に関する研究会」報告の「新統一的な基準」に基づく、財務書類の作成を行っています。

3. 重要な後発事象

(1) 主要な業務の改廃

特になし

(2) 地方財政制度の大幅な改正

特になし

(3) 組織・機構の大幅な変更

特になし

(4) 重大な災害等の発生

特になし

(5) その他重要な後発事象

特になし

4. 偶発債務

(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

特になし

(2) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

特になし

(3) その他主要な偶発債務

特になし

5. 追加情報

(1) 対象範囲 (対象とする会計名)

① 一般会計

② 工業誘致特別会計

(2) 一般会計等と普通会計の対象範囲等の差異

特になし

(3) 出納整理期間

財務書類の作成基準日は、会計年度末(3月31日)ですが、出納整理期間中の現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。(地方自治法235条の5「普通地方公共団体の出納は、翌年度の5月31日をもって閉鎖する。」)

(4) 表示単位未満

表示単位未満の金額は四捨五入とし、一部合計値と不一致があります。

(5) 地方公共団体財政健全化法における健全化判断比率の状況

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
—	—	12.1%	—

(6) 利子補給等に係る債務負担行為の翌年度以降の支出予定額

特になし

(7) 売却可能資産に係る資産科目別の金額及びその範囲
特になし

(8) 減債基金に係る積立不足の有無及び不足額
特になし

(9) 自治法第234条の3に基づく長期継続契約で貸借対照表に計上されたリース
債務金額 特になし